④　合格者発表　平成26年９月12日（金）
衆議院第二別館前掲示板において発表するほか、衆議院ホームページでも知らせる。また、合格者については郵送で通知する。

⑷　第２次試験（第１次試験の合格者に対して行う。）
①　試験日　平成26年９月22日（月）から９月26日（金）のうち指定する日
②　試験場　衆議院事務局
③　試験内容　個別面接試験

⑸　最終合格者発表　10月中旬頃、合否を各人あてに郵便で通知する。

8　衛視試験

⑴　給与　この試験に合格して採用された場合には、原則として、議院警察職給料表の１級３号給が支給される。このほか、国会職員の給与等に関する規程の定めるところにより、諸手当が支給される。

⑵　受験資格　平成４年４月２日から平成９年４月１日までに生まれた者で次に掲げる者
ａ　高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成27年３月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
ｂ　衆議院事務局がａに掲げる者と同等の資格があると認める者
ただし、日本国籍を有しない者及び国会職員法第二条の規定により国会職員となることができない者は、受験することができない。

⑶　第１次試験
①　試験日　平成26年９月６日（土）
②　試験場　東京都
③　試験内容　基礎能力試験（多肢選択式）
④　合格者発表　平成26年９月12日（金）
衆議院第二別館前掲示板において発表するほか、衆議院ホームページでも知らせる。また、合格者については郵便で通知する。
⑤　スポーツ等の資格経歴の考慮について
衛視試験の第１次試験の合否判定に際して、柔道、剣道等の段位（２段以上）及び各種スポーツで秀でた成績をあげた経歴等（全国規模で行われる大会で、日本選手権、国民体育大会、大学選手権、全国高校総合体育大会及びそれに準ずる大会の出場経験、若しくはこれに類するもの）を考慮することとする。

⑷　第２次試験（第１次試験の合格者に対して行う。）
①　試験日　平成26年10月２日（木）及び10月３日（金）の両日
②　試験場　衆議院事務局
③　試験内容
ａ　身体検査
ｂ　体力検査
ｃ　個別面接試験
なお、検査結果において、身長160㎝（女子154㎝）以上、裸眼視力0.6以上（又は矯正視力1.0以上）、色覚及び聴力が衛視としての職務の執行に支障がないこと、衛視としての職務の執行に支障のある疾患がないことのいずれかを満たさない場合、それを理由に不合格とすることがある。

⑸　最終合格者発表　10月中旬頃、合否を各人あてに郵便で通知する。

9　受験手続及び問合せ先

⑴　受験申込書の請求　受験申込書及び試験案内は、衆議院事務局庶務部人事課任用係で交付する。
郵便で請求する場合は、請求用封筒の表に「総合職（大卒）請求」、「一般職（大卒）請求」、「一般職（高卒）請求」又は「衛視請求」のいずれかを朱書し、返信用封筒として120円切手を貼った角型２号（33.2㎝×24.0㎝）程度の封筒を同封すること。

⑵　提出書類
○　総合職試験（大卒程度試験）、一般職試験（大卒程度試験）及び一般職試験（高卒程度試験）　受験申込書
○　衛視試験
ａ　受験申込書
ｂ　スポーツ等資格経歴の考慮対象となる資格経歴がある場合、当該資格経歴を証明する書類の写し

⑶　受付期間
○　総合職試験（大卒程度試験）　平成26年３月20日（木）から４月８日（火）まで（郵送の場合は４月８日消印有効。）
○　一般職試験（大卒程度試験）　平成26年３月20日（木）から４月８日（火）まで（郵送の場合は４月８日消印有効。）
○　一般職試験（高卒程度試験）　平成26年７月22日（火）から７月31日（木）まで（郵送の場合は７月31日消印有効。）
○　衛視試験　平成26年７月22日（火）から７月31日（木）まで（郵送の場合は７月31日消印有効。）
受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く平日午前10時から午後５時まで。郵送での受験申込みの場合は、特定記録郵便とし、封筒の表に「総合職（大卒）申込」、「一般職（大卒）申込」、「一般職（高卒）申込」又は「衛視申込」と朱書すること。

⑷　併願受験　一般職試験（高卒程度試験）と衛視試験は併願することができない。

⑸　提出先及び問合せ先　〒100－8960　東京都千代田区永田町１－７－１　衆議院事務局庶務部人事課任用係（衆議院第二別館）　電話03－3581－6866

⑹　その他　試験の詳細については、別に作成している試験案内、衆議院のホームページ等を参照すること。

平成 26 年度国立国会図書館職員採用試験公告

平成26年度国立国会図書館職員採用試験について、次のとおり告知する。

平成 26 年３月３日　　国立国会図書館

1　試験の種類

⑴　国立国会図書館職員採用総合職試験

⑵　国立国会図書館職員採用一般職試験（大卒程度試験）

⑶　国立国会図書館資料保存専門職員採用試験（大卒程度試験）

2　職務内容

⑴　総合職、一般職試験（大卒程度試験）による採用者　調査業務、司書業務、一般事務等の館務。

⑵　資料保存専門職員採用試験（大卒程度試験）による採用者　各種図書館資料の保存修復業務（製本実務を含む。）、資料保存（マイクロ資料、電子情報等、紙媒体以外の資料の保存を含む。）に関する企画・調査研究及び当該専門的知識を必要とする業務（国内外関係者への研修、外部関連機関との交流等）

3　官署及び勤務地

⑴　総合職・一般職試験（大卒程度試験）による採用者
①　東京都
ａ　国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町１－10－１）
ｂ　国立国会図書館国際子ども図書館（東京都台東区上野公園12－49）
②　京都府
国立国会図書館関西館（京都府相楽郡精華町精華台８－１－３）
いずれの官署の職員も、国立国会図書館職員として、本採用試験により採用する。三官署が国立国会図書館として一体となった業務・サービスを行うため、官署間の異動、東京と京都の間の転勤がある。

⑵　資料保存専門職員採用試験による採用者
主として収集書誌部資料保存課（国立国会図書館東京本館／東京都千代田区永田町１－10－１）
東京本館内での異動及び関西館（京都府相楽郡精華町精華台８－１－３）又は国際子ども図書館（東京都台東区上野公園12－49）での勤務もあり得る。

4　採用予定人数

⑴　総合職試験　若干名

⑵　一般職試験（大卒程度試験）　若干名

⑶　資料保存専門職員採用試験（大卒程度試験）　若干名

5　総合職試験

⑴　受験資格
①　昭和60年４月２日から平成６年４月１日までに生まれた者
②　平成６年４月２日以降に生まれた者で次に掲げるもの
ａ　学校教育法による大学を卒業した者又は平成27年３月までに卒業する見込みの者
ｂ　館長がａに掲げる者と同等の資格があると認める者
ただし、日本の国籍を有しない者及び国会職員法第２条の規定により国会職員となることができない者は、受験することができない。

⑵　受験の特例
総合職試験の受験者は、申込みに際して、併せて一般職試験（大卒程度試験）の受験者としての取扱いを希望することができる。

⑶　第１次試験
①　試験日　平成26年５月11日（日）
②　試験地　東京都及び京都府
③　試験内容　教養試験（多肢選択式）
④　合格者発表　平成26年５月21日（水）